

ハイボン[®]ファイブプライマーII

JASS 18 M-109
変性エポキシ樹脂プライマー
適合品

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

2液形エポキシ樹脂系塗料の高防食性を保持したまま、さらに使いやすさを追求しました

■特長

- ①ターペン可溶です 塗料用シンナーAで希釈ができるため、臭気が柔らかく、作業環境にやさしい塗料です。
- ②塗り替え適性にすぐれています 弱溶剤タイプですので、縮み、きわの引き起こしの心配が少なく、旧塗膜が油性系、フタル酸樹脂系、塩化ゴム系、アクリル樹脂系、ポリウレタン樹脂系などの上にも直接塗装することができます。
- ③すぐれた作業性です はけ・ローラー・エアレススプレー塗装が可能で、作業性にすぐれ、スムーズな塗りやすさを実現しました。
- ④速乾タイプです 乾燥性にすぐれ、乾燥条件によりその日のうちに次工程に移ることができます。
- ⑤すぐれた防錆性を発揮します 従来の変性エポキシ樹脂系塗料と同等の防錆性を保持しています。
- ⑥有害重金属顔料を含まない塗料です 鉛・クロムを一切配合していません。

■用途 建築物内部および外部の鉄面全般・旧塗膜面

■塗装仕様例 (ファイブウレタンU100を上塗りに用いた塗装仕様)

●一般鉄部

塗装工程	製品名	使用量 (kg/m ² /回)	塗り回数	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	シンナー名 (希釈率)	塗装方法
素地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含め入念に除去してください。さびは、電動工具やサンドペーパー、研磨布などを用いて除去清掃してください。					
(補修塗り)	ハイボンファイブプライマーII	0.16~0.18	(1)	4時間以上 7日以内※	塗料用シンナーA 0~10%	はけ・ローラー エアレススプレー
下塗り	ハイボンファイブプライマーII	0.16~0.18	1	4時間以上 7日以内※	塗料用シンナーA 0~10%	はけ・ローラー エアレススプレー
上塗り1	ファイブウレタンU100	0.12~0.17	1	2時間以上	塗料用シンナーA 5~10%	はけ・ローラー エアレススプレー
上塗り2	ファイブウレタンU100	0.12~0.17	1	-	塗料用シンナーA 5~10%	はけ・ローラー エアレススプレー

- 上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
- 上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。
- 吹き付け施工の場合は、飛散防止のため養生を行ってください。
- ※高温下では硬化反応が著しく速まります。高温時の施工では、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。

■素地との付着性と上塗り塗料の適合性

●素地との付着性

素地	付着性	備考
鉄	○	
ステンレス	○	SUS316、SUS304など
融融亜鉛めっき	○ ※1	白さび除去必須
クロメート処理亜鉛めっき	○	
電気亜鉛めっき	○	ボンデライトなど
アルミ	○	A1050Pなど
アルミアルマイト	○	
FRP板	○	
ガルバリウム鋼板	○	

※1 6カ月以上ばく露してください。それでもキラキラしている箇所はペーパー研磨が必要です。

注) 上記以外の素地との付着性につきましては、最寄りの営業所までお問い合わせください。

●旧塗膜との付着性

■焼付け塗料

旧塗膜 ※1	付着性
(PCM: プレコート)	
シリコンポリエステル	○
オイルフリーポリエステル	○
塩ビゾル ※2	△~×
ふっ素 ※3	△
(メラミン系)	
メラミンアルキド	○
アクリルメラミン	○

■常乾塗料

旧塗膜	付着性
フタル酸樹脂塗料	○
エポキシ樹脂塗料	○
ポリウレタン樹脂塗料	○
塩化ゴム系樹脂塗料	○
アクリル樹脂塗料	○ ※4
ラッカー塗料	○
アルミニウムペイント	○
ふっ素樹脂塗料	○
シリコンアクリル塗料	○
シリコンアルキド樹脂塗料	○

注) 汚れの除去、付着性アップのためペーパー研磨は必須です。

※1 旧塗膜とは、塗装後1年以上経過したものを指しています。

※2 可塑剤が表層に出てくるため付着性が劣る。可塑剤がなくないと付着性が向上する。目安として10年経過していれば○。

※3 ユニフロンは○。

※4 旧塗膜の塗装後、5年以内は避けてください。

油性系さび止め塗料 (JIS・K5621~5629)	△	塗装後1カ月以上経過していれば○ 表層乾きが起り、中が熟んでいると、縮む事がある
----------------------------	---	---

●各種塗料の上塗り適応性

塗料系統	一般名称	製品名	性能
弱溶剤系	ターペン可溶2液セラミックハイブリッド超耐候超低汚染無機系塗料	グランセラトップ2液ファイン	○
	ターペン可溶2液超低汚染セラミック変性フッ素樹脂塗料	ファインDFセラミック	○
	ターペン可溶2液形フッ素樹脂系塗料	ファインフッソ	○
	ターペン可溶フッ素樹脂トタン屋根用塗料	デュフロNDフルーフ	○
	超低汚染形ターペン2液形アクリルシリコン樹脂塗料	ファインシリコンフレッシュII	○
	ターペン可溶2液形シリコン系塗料	ファインSi	○
	2液形シリコン系屋根用塗料	ファインルーフSi	○
	ターペン可溶2液形ポリウレタン樹脂塗料	ファインウレタンU100	○
	2液形ポリウレタントタンペイント	ファインルーフU	○
	ターペン可溶1液形フッ素樹脂系塗料	1液ファインフッソUV	○
	ターペン可溶1液反応硬化形フッ素樹脂系屋根用塗料	1液ファインDFルーフ	○
	ターペン可溶1液反応硬化形セラミック変性シリコン系塗料	1液ファインシリコンセラUV	○
	1液反応硬化形シリコン変性樹脂屋根用塗料	シリコンルーフII	○
	ターペン可溶1液反応硬化形ウレタン樹脂塗料	1液ファインウレタンU100	○
	カチオン形弱溶剤アクリル樹脂系非水分散形塗料	ケンエースG-II	○
	アクリル樹脂トタン塗替え用塗料	ACTタンペイントII	○
合成樹脂調合ペイント	Hi-CRデラックスエコII	○ ※1	
建築用フタル酸樹脂エナメル	ハイシルクフォースター	○ ※1	

※1 低温時の塗り重ねは、翌日以降塗装をお願いします。

注) ハイボンファイブプライマーIIの上に強溶剤系エポキシ樹脂塗料は塗り重ねないでください。

縮みをおこすことがあります。その他の強溶剤系塗料の塗り重ねについては、翌日塗装をお願い致します。

注) 上記以外の適用上塗り塗料につきましては、最寄りの営業所までお問い合わせください。

ハイボン® ファインプライマー-II

使用方法

下地調整：塗り替え時の素地調整は発錆部、劣化部は第2種ケレンを、活膜部はサンドペーパーなどで表面調整を行ってください。
調合：2液形のため、「塗料液：硬化剤＝9：1（重量比）」に混合し、十分にかくはんしてください。

ポットライフ：	塗料温度	5°C	23°C	30°C
	可使用時間	8時間	6時間	4時間

- ・ポットライフは、施工時の気温、保管状態、シンナーの希釈率などによって異なります。
- ・塗料液と硬化剤を混合した塗料は、必ずポットライフをまもってその日のうちに使いきってください。

希釈剤：塗料用シンナーA、塗料用シンナーSA

塗装方法：	はけ・ウールローラー	エアレススプレー
希釈率	0～10%	0～5%
使用量	0.16～0.18kg/m ² /回	0.16～0.18kg/m ² /回

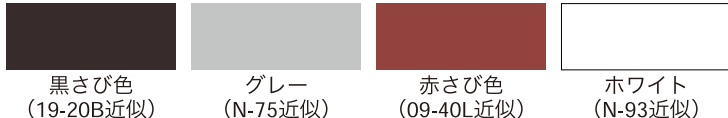
- ・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
- ・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

エアレス条件：一次圧0.4～0.5MPa 二次圧12MPa以上 チップNo.163-617、619など

乾燥時間：	5～10°C	23°C	30°C
指触乾燥	2時間	1時間	30分
塗り重ね乾燥	6時間以上10日以内	4時間以上7日以内	3時間以上5日以内

- ・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

色相 常備色の色相（日塗工No.）※印刷のため実物とは異なります。



容量

容量	塗料液	硬化剤
4kgセット	3.6kg	0.4kg
16kgセット	14.4kg	1.6kg

使用上のご注意（詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください）

1. 塗装場所の気温が5°C未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分にでき結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
2. 十分な塗膜性能を確保するため、規定の使用量をおまもりください。
3. ごみ・ほこり・砂・油・樹脂などは、塗装前に水洗い、溶剤拭きなどで十分に除去し、乾燥した清浄な面に行ってください。
4. さびは、ワイヤブラシ・サンドペーパーなどで入念に除去し、膨れ・割れの発生にも注意し、十分なケレンを行ってください。
5. 鉄、アルミニウム、溶融亜鉛めっき、電気亜鉛めっきなどを塗装する場合は入念な面荒しを行ってください。
6. 下地調整程度が悪い場合には、早期にさびが発生する可能性があります。
7. 本品は規定の塗り重ね乾燥時間よりも早く上塗り塗料を塗装すると、縮み、割れ、乾燥不良を起こしますので、塗り重ね乾燥時間をまもってください。また、吸い込みの大きい下地や素材の場合は、塗り重ね乾燥時間は長めにしてください。短時間で上塗り塗料を塗装すると、溶剤による膨れや縮みなどが発生するおそれがありますので避けてください。
8. 高温下では硬化反応が著しく速まります。高温時の施工では、上塗を3日以内に塗り重ねてください。
9. 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願いします。
10. 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダシ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
11. 硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
12. 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
13. 塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
14. 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合（高湿度、結露、降雨など）、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
15. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
16. 内部塗り替えにおいて旧塗膜がSOP、FEなどの油性系の場合、研磨ずりを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜はく離の原因となります。
17. 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご確認ください。
18. シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
19. 素地の乾燥は十分に行ってください。
20. 塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりが作業性が低下することがあります。
21. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
22. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
23. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
24. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
25. シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフプライマーを下塗りすることで、可塑性移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
26. 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
27. 薄めすぎは隠れ力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
28. 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
29. はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
30. 汚れ、きずなどにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
31. はけなどの塗装用具の洗いは、ラッカーシンナーを使用してください。
32. ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
33. 可塑剤が多く含まれる塩ビクロス、塩ビソル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革などへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
34. 表面に特殊セラミック処理・特殊ガラスコート処理、フッ素コート処理、はっ水処理、光触媒処理などの特殊な処理を施した素材には、塗料が付着しない場合や、塗膜に不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
35. 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
36. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
37. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
38. 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
39. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

- 本カタログ掲載商品の詳細な危険有害性情報や使用上の注意事項等については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
- 本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9608
東北支店 ☎022-232-6711 中国支店 ☎082-281-2180
関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346
北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861
中部支店 ☎052-461-1960

- 本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2025 NIPPON PAINT Co.,LTD. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.

NP-D089

TY250612T

2025年6月現在